

スポーツカーニバル来年度実施に向けて

総 括

- ① 過去 2 回にわたり、体育協会全競技連盟(18)が初心者体験コーナーを中心に各地域・施設で実施 ⇒ 競技においては、馴染まないものもある（「スポーツデー」で代替）。
- ② 時間確保を目的に、開会式を競技日と分離し、市民会館で開催 ⇒ 参加者の負担軽減や経費削減からも 1 日で可能（午後も実施可能、模擬店の設置）
- ③ 従来の参加者数（400 人程度）から 3 倍(1,500 人程度)に増加 ⇒ 地域での実施、啓発の拡大(市民まつり、HP)

方 向 性

『集中型』

- 競技を絞り、体育館周辺と来ぶらい四条に集中(東部に偏在)。主になる競技種目は何か。
- 競技開始前に開会式を実施(30 分程度、他の団体は役員参加)
- 模擬店を設置
- 啓発の多様化

『分散型』

- 「体育の日」は、市施設を無料開放、連盟がカーニバルを実施（施設が重複し、調整が必要）
- 啓発や競技内容を各連盟が工夫

『代替型』

- 「市民まつり」の日に隣接地（住道中学校を中心に）で体力測定と数競技を実施
- 参加者確保は容易
- スポーツ基本法との関係（体育の日の行事）
- 安全面での検討（まつりの雰囲気）

〔理事会：連盟からの意見〕

- カローリング競技者の増加に伴うレーンの少なさ（現在6→10レーン可能）。
- 開会式を競技当日にし、2日から1日へ変更、実行委員会の見直し（構成団体）
- 市の方針は、どのようなものか（「まなびの文化創造プラン」）。

実行委員会からの意見

（第4回・11月29日開催）

○ 開会式・競技実施について

- ・ 午後からも競技をすることは当然であり、開会式を含め、1日で実施すべきである。
- ・ 競技を担当する連盟は、スポーツに親しむ市民の「お手伝い」という基本理念を遵守、徹底してほしい。
- ・ 市民体育館での実施競技は、親子や三世代の参加ができるよう誰でもが親しめる種目を工夫してもらいたい。
- ・ 模擬店における価格設定が、高いのではないか。また、体育協会加盟連盟に限定することなく、一般公募や他の団体、例えば、スポーツ少年団や市こ連などにも呼び掛けてはどうか。

○ 来年度以降実施について

- ・ 深北緑地球技広場で、運動会や模擬店を開催することにより、市民の参加を広く呼び掛けてはどうか（←雨天時の対応、府施設である場所の確保）。
- ・ 方向性の選択肢では、競技施設が東部に集中するが「集中型」が相応しいのではないか。
- ・ 主会場となる体育館大体育室では、今年度実施した大運動会を工夫して、幅広く市民が参加できる競技を実施すべきである。